

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】				島名	備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	その他情報				沖縄県における区分
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山・尖閣諸島							特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	重点対策種	
1	無尾	ヒキガエル	オオヒキガエル	<i>Bufo marinus</i> (<i>Rhinella marina</i>)	(○)	○	(○)	○	沖縄島、石垣島、鳩間島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	害虫駆除を目的に南大東島へ導入され(1940年代)、石垣島には1978年に南大東島より持ち込まれた。石垣島と大東諸島では定着。その後分布域を拡大している。西表島は定着していないが、繰り返し発見されている。鳩間島では根絶。	12), 10), 4), 7), 8), 9), 13), 14)	○	緊急対策外来種			●	●	●	重点対策種
2			特定外来生物のヒキガエル属(オオヒキガエルを除く)	<i>Bufo spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		-	その他の定着予防外来種			●			予防種
3			ヨーロッパミドリヒキガエルなどヒキガエル属5種(ヨーロッパミドリヒキガエル、テキサスミドリヒキガエル、ナンブヒキガエル、ガルフコーストヒキガエル、ロココヒキガエル(キャハンヒキガエル))	<i>Bufo viridis</i> <i>Bufo debilis</i> <i>Bufo terrestris</i> <i>Bufo valliceps</i> <i>Bufo paracnemis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		-	その他の定着予防外来種						予防種
4			ミヤコヒキガエル(宮古諸島以外)	<i>Bufo gargarizans miyakonis</i>	(○)	○			沖縄島、北大東島、南大東島	大東諸島では、1940年代に害虫駆除を目的に導入。沖縄島へは1975~76年頃に教材用に持ち込まれたものを野外へ放したが、駆除事業により消滅した。自然分布:宮古諸島(池間島、宮古島、伊良部島、下地島)	12), 10), 4), 5), 7), 8), 9), 13), 14)	○		県内外来種					対策種
5		アマガエル	キューバズツキガエル(キューバアマガエル)	<i>Osteopilus septentrionalis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		-	侵入予防外来種			●			予防種
6		ユビナガガエル	コキョコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus coqui</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		-	侵入予防外来種			●	●		予防種
7			ジョンストンコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus johnstonei</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		-	侵入予防外来種			●			予防種
8			オンシツガエル	<i>Eleutherodactylus planirostris</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		-	侵入予防外来種			●			予防種
9		アカガエル	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i> (<i>Lithobates catesbeianus</i>)	○			○	伊平屋島、伊是名島、伊江島、瀬底島、沖縄島、久米島、渡嘉敷島、渡名喜島、石垣島、小浜島、西表島	1953年に食用目的で久米島へ移入。渡嘉敷島・渡名喜島・石垣島では消滅した。	12), 10), 4), 7), 8), 9), 13)	○	重点対策外来種			●	●	●	対策種
10		ヌマガエル	サキシマヌマガエ(自然分布域以外)	<i>Fejervarya sakishimensis</i>		○	○	○	多良間島、黒島、与那国島	以前はヌマガエルと同種とされていたが、2007年に新種として記載された(21)。多良間島には1952年、黒島は1930年代頃移入された。与那国島では戦前に持ち込まれたという情報があるが詳細不明。自然分布:先島諸島(池間島、宮古島、伊良部島、下地島、来間島、石垣島、竹富島、小浜島、西表島、波照間島)	'12), 10), 21)	○		県内外来種					対策種
11			ヌマガエル(沖縄諸島以外)	<i>Fejervarya kawamurai</i>		○			北大東島、南大東島	1970年代前半に大東諸島に移入 自然分布域:沖縄諸島	'12), 10), 21)	○	重点対策外来種(島に侵入したヌマガエルとして)	県内外来種					対策種
12			アジアウキガエル属	<i>Occidozyga spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		-							予防種

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	その他情報				沖縄県における区分
					移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山・尖閣諸島										
13		アオガエル	シロアゴガエル	<i>Polypedates leucomystax</i>	○	○	○	○	沖縄島、伊平屋島、伊是名島、古宇利島、伊江島、瀬底島、水納島(本部)、宮城島(大宜味)、屋我地島、奥武島(名護)、伊計島、宮城島(うるま)、平安座島、藪地島、浜比嘉島、津堅島、久高島、奥武島(南城)、粟国島、阿嘉島、渡嘉敷島、座間味島、渡名喜島、久米島、奥武島(久米島)、宮古島、池間島、伊良部島、来間島、石垣島、多良間島、西表島、北大東島、与那国島	1964年に嘉手納基地周辺で確認。東南アジアから軍事物資に紛れて入った可能性が指摘されている。水納島(本部)では繁殖せず消滅したと考えられる(12)。波照間島でも記録があるが誤植とされる(12)。西表島は2015年に確認された。渡嘉敷島、座間味島では2016年に確認された(19)。与那国島では2008年に捕獲されたが、定着は確認されていない(20)。	1), 2), 3), 4), 6), 7), 8), 9), 10), 11), 12), 13), 15), 16), 17), 18)	○	重点対策外来種	●	●	●	対策種	
14			ホンコンシロアゴガエル	<i>Polypedates megacephalus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。	-						予防種	
15		ヒメアマガエル	ヒメアマガエル(自然分布域外)	<i>Microhyla okinavensis</i>			○	○	多良間島、黒島	1952年に初確認。自然分布: 沖縄諸島(伊平屋島、具志川島、伊是名島、古宇利島、家島、瀬底島、屋我地島、伊計島、宮城島、平安座島、浜比嘉島、津堅島、久高島、沖縄島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島、粟国島、渡名喜島、久米島)、先島諸島(宮古島、伊良部島、石垣島、竹富島、小浜島、西表島、波照間島)	12), 10), 4)	○	県内外来種				区分外	
16			アジアジムグリガエル	<i>Kaloula pulchra</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。	-			●			予防種	
17		ビバ	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。	-						予防種	
18	有尾	オオサンショウウオ	チュウゴクオオサンショウウオ	<i>Andrias davidianus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。	-						予防種	
19		イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。	-						予防種	

主な参考文献

- 青柳克(2015). 慶良間諸島阿嘉島、並びに久高島からのシロアゴガエルの初記録, Akamata, 25; 28-30
- 岩尾研二(2015). 慶良間列島の外来動物, みどりいし, 26; 24-34
- 太田英利・角田正美・仲座寛泰・中山愛子(2008). シロアゴガエルの石垣島, ならびに北大東島からの記録, 19; 44-48
- 沖縄県立博物館(1996). 沖縄の帰化動物.
- 嵩原建二・当山昌直・小浜継雄・幸地良仁・知念盛俊・比嘉ヨシ子(1997). 沖縄の帰化動物-海をこえてきた動物たち-. 沖縄出版. 沖縄
- 環境省(2015). 西表島におけるシロアゴガエルの侵入確認について(2015年09月4日). 報道発表
- 環境省那覇自然環境事務所(2013). 沖縄諸島の外来種.
- 環境省那覇自然環境事務所(2013). 宮古諸島の外来種.
- 環境省那覇自然環境事務所(2013). 八重山諸島の外来種.
- 国立研究開発法人 国立環境研究所. 侵入生物データベース
- 田中聡(2006). シロアゴガエルとオンナダケヤモリの池間島からの記録. 沖縄県立博物館紀要, 32; 1-3
- 前之園 唯史・戸田 守(2007) 琉球列島における両生類および陸生爬虫類の分布. Akamata, 18:28-46.
- 琉球大学資料館(風樹館)(2011). 琉球大学資料館(風樹館)哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類標本目録. 琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録 第5号
- 奥土晴夫(2000). 南大東島の自然. ニライ社. 沖縄県
- 本調査での初記録
- 環境省(2012). 行政資料. 奄美・琉球の島別外来種の分布情報を集めています, 現在の分布情報の現状(平成25年9月現在).
- N. Kuraishi, M. Matsui, Hidetoshi Ota (2009) Estimation of the Origin of *Plypedates leucomystax* (Amphibia: Anura: Rhacophoridae) Introduced to the Ryukyu Archipelago, Japan.
- 河内紀浩(2002) 伊平屋島と伊江島からのシロアゴガエルの新記録. Akamata, 16: 6.
- 環境省那覇自然環境事務所. 行政資料. 管内の外来生物対策事業. <http://kyushu.env.go.jp/naha/wildlife/gairai.html> (平成29年10月アクセス)
- 環境省那覇自然環境事務所. 報道発表資料. 2008年度. 【通知】与那国島での特定外来生物シロアゴガエルの捕獲について. http://kyushu.env.go.jp/naha/pre_2008/0801a.html (平成
- 佐々木健志・山城照久・村山望(2016). 生態写真と鳴き声で知る沖縄のカエル. 新星出版, 沖縄